広報発表資料
2014.2.3

Kyoto
International
Festival
of
Contemporary
Culture

PARASOPHIA

PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015
第7回目のオープンリサーチプログラム開催のお知らせ

オープンリサーチプログラム［レクチャー］
クリス・デルコン（テート・モダン館長）
「21世紀のための美術＋建築——テート・モダン」

***PARASOPHIA+Future Beauty 共同プロジェクト**

開催概要

タイトル	オープンリサーチプログラム［レクチャー］ クリス・デルコン（テート・モダン館長） 「21世紀のための美術＋建築——テート・モダン」 *PARASOPHIA+Future Beauty 共同プロジェクト
日　時	2014年4月4日（金） 19:00–20:30（18:30開場）
会　場	京都国立近代美術館 1階 ロビー 〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 ※市バス他系統ご利用の方→「京都会館美術館前」下車すぐ ※地下鉄ご利用の方→地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約10分
入場料	無料（事前申込不要）
定　員	150名（当日17:00から1階インフォメーションにて整理券を配布します）
言　語	英語（日本語逐次通訳あり）
主　催	PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015、京都服飾文化研究財団、 京都国立近代美術館

開催趣旨

PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015のメイン会場には、京都市美術館と京都府京都文化博物館が予定されています。2015年春の開催に向けてPARASOPHIA事務局は世界の最先端を行く美術館の考え方を調査するために、今回はプロフェッショナルアドバイザリーボードメンバー*のクリス・デルコン（テート・モダン館長）をお招きしてお話を伺います。

テート・モダンの新戦略

テート・モダン、テート・ブリテン、テート・リヴァプール、テート・セント・アイヴスの4つの館を中心としたテートの歴史は、1897年にイギリスの美術の小さなギャラリーとして始まりました。世界の近現代美術を専門とするロンドンのテート・モダンは1992年に計画が発表され、旧バンクサイド発電所をスイスの建築家ユニット、ヘルツォーク＆ド・ムーロンの設計により改装し、2000年5月に開館。それから十年近く経ち、テート・モダンは施設を一新するべく2009年から「ザ・テート・モダン・プロジェクト」として現在の建物の南側の再開発を始めました。クリス・デルコンは2011年4月にテート・モダン館長に就任。世界的に活躍するキュレーターでもあるデルコンが、現在の館長としてテート・モダンの新戦略を語ります。

Photocredit: Tate Photography

PARASOPHIA+Future Beauty 共同プロジェクト

2011年までミュンヘンのハウス・デア・クンスト館長を務めたクリス・デルコンは、在任中に京都服飾文化研究財団（KCI）チーフ・キュレーターの深井晃子と共に「Future Beauty: 30 Years of Japanese Fashion」展ミュンヘン版（2011）のキュレーションを担当。2010年のバービカン・アート・ギャラリーでの展示を皮切りに、世界5都市を巡回した同展を再構成した「Future Beauty 日本ファッション：不連続の連続」展が京都国立近代美術館で2014年3月21日に開幕します**。今回のオープンリサーチプログラムは、「Future Beauty」展を主催する京都服飾文化研究財団と京都国立近代美術館との共同企画として開催いたします。

*プロフェッショナルアドバイザリーボードメンバーは、より優れた芸術祭の実現を目指すことを目的に、アーティスティックディレクターに対して助言・サポートする専門家により構成されています。

**「Future Beauty 日本ファッション：不連続の連続」
会期：2014年3月21日（金・祝）–5月11日（日）
会場：京都国立近代美術館
主催：京都国立近代美術館、公益財団法人京都服飾文化研究財団

広報に関するお問合せ ｜ 京都国際現代芸術祭組織委員会事務局（PARASOPHIA事務局）
E-mail: press@parasophia.jp　TEL: 075-257-1453　FAX: 075-257-1454　URL: www.parasophia.jp
〒604-8152 京都市中京区烏丸通蛸薬師下ル手洗水町645 flowing KARASUMA 2階

登壇者プロフィール

クリス・デルコン　Chris Dercon

1958年ベルギー・リール生まれ。
美術史家、ドキュメンタリー映像作家、文化プロデューサー。
2011年4月にテート・モダン（ロンドン）館長に就任。以前はハウス・デア・クンスト館長（ミュンヘン、2003–11）、ボイマンス・ヴァン・ベーニンゲン美術館館長（ロッテルダム、1996–2003）、ウィッテ・デ・ウィット現代美術センター館長（ロッテルダム、1990–95）、P.S. 1プログラムディレクター（ニューヨーク、1988–89）［現在のMoMA PS1］を務めた。
アンドレ・カデレ、ダン・グラハム、コンスタンティン・グルチッチ、ハンス・ハーケ、カルロ・モリーノ、エリオ・オイチシカ、ポール・セック、艾未未［アイ・ウェイウェイ］、フランツ・ヴェストらの展覧会のキュレーションを担当（共同キュレーションを含む）。展覧会カタログや美術書のための執筆や編集に加えて多数の講演やインタビューなど世界的に活動。現在の主な関心は古今東西のテキスタイル。ブラジル（1988年頃）、北アフリカとレヴァント地方（1992年頃）、日本（1993年頃）、中国（1999年頃）、インド（2005年頃）など世界各国で詳細な文化リサーチや現地の文化プロデューサーとのコラボレーションを行う。近年では西アフリカ、ペルシア湾、サウジアラビアで活動している。

2月のオープンリサーチプログラム

第6回目のオープンリサーチプログラムは、プレイベント［作品展示］ウィリアム・ケントリッジ《時間の抵抗》アクセスプログラムも兼ねて、小説家の円城塔氏をお招きします。

オープンリサーチプログラム / プレイベント アクセスプログラム
円城塔
講師：円城塔（小説家）
日時：2014年2月16日（日）15:00–16:30
会場：元・立誠小学校 スタディールーム（1階 木工室）
言語：日本語
定員：40名
入場料：無料（要事前申込）
申込方法：公式ウェブサイト内参加申込フォームからお申込みください。受付は先着順で行い、定員に達した場合は入場をお断りすることがございます。

Kyoto
International
Festival
of
Contemporary
Culture

PARASOPHIA

PARASOPHIAについて

「PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015」は、京都国際現代芸術祭組織委員会、京都経済同友会、京都府、京都市が主催する国際展です。2015年3月上旬から5月上旬にかけて京都市美術館、京都府京都文化博物館ほか京都府、京都市の関連施設等で開催予定。
最新の情報は公式ウェブサイトをご覧ください。 www.parasophia.jp

名　称	PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015
会　期	2015年3月上旬から5月上旬
会　場	京都市美術館、京都府京都文化博物館ほか府・市関連施設など
アーティスティックディレクター	河本信治（元・京都国立近代美術館学芸課長）
概算事業費	4億5千万円（2013〜2015年度の総額）
目標入場者数	25万人
主　催	京都国際現代芸術祭組織委員会、一般社団法人京都経済同友会、京都府、京都市
協　力	京都工芸繊維大学、京都市立芸術大学、京都精華大学、京都造形芸術大学
後　援	国際交流基金
認　定	公益社団法人企業メセナ協議会

（2014.2.3現在）

オープンリサーチプログラムとは

アーティスティックディレクターとキュレトリアルチームが、PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015に向けて行う調査研究のプロセスを広く一般に公開し共有するためのプログラムです。これまでのプログラムは、公式ウェブサイト内のレポート及び電子書籍『Parasophia Chronicle』において調査記録を公開しています。

01 **[レクチャー] リピット水田堯「猫と犬のように——映画とカタストロフ」**
日時：2013年6月21日　会場：京都府京都文化博物館 別館ホール

02 **[報告会]田中功起＋蔵屋美香「抽象的に話すこと——ヴェネツィア・ビエンナーレに参加して」**
日時：2013年7月27日　会場：同志社大学今出川キャンパス 良心館

03 **[レクチャー]ドミニク・ゴンザレス=フォルステル**
日時：2013年9月6日　会場：京都府京都文化博物館 別館ホール

04 **[対談]ダイアローグ——蔡國強×浅田彰**
日時：2013年10月14日　会場：京都造形芸術大学 人間館1階 ギャルリ・オーブ

05 **[レクチャー]妹島和世**
日時：2013年10月25日　会場：flowing KARASUMA

06 **[レクチャー]円城塔**
日時：2014年2月16日　会場：元・立誠小学校 スタディールーム（1階 木工室）

07 **[レクチャー]クリス・デルコン「21世紀のための美術＋建築——テート・モダン」**
日時：2014年4月4日　会場：京都国立近代美術館 1階ロビー

広報に関するお問合せ｜京都国際現代芸術祭組織委員会事務局（PARASOPHIA事務局）
E-mail: press@parasophia.jp　TEL: 075-257-1453　FAX: 075-257-1454　URL: www.parasophia.jp
〒604-8152 京都市中京区烏丸通蛸薬師下ル手洗水町645 flowing KARASUMA 2階